平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月２日

上場会社名　株式会社エフ・ジェー・ネクスト　上場取引所　東
コード番号　8935　ＵＲＬ　http://www.fjnext.com
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）肥田　幸春
問合せ先責任者　（役職名）取締役 管理本部長 兼 経営企画室長　（氏名）永井　敦　ＴＥＬ　03-6733-7711
四半期報告書提出予定日　平成24年８月８日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	6,562	16.0	668	8.7	642	9.8	322	52.3
24年３月期第１四半期	5,659	28.4	614	－	585	－	211	－

（注）包括利益　25年３月期第１四半期　320百万円（41.4%）　24年３月期第１四半期　226百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	20.71	－
24年３月期第１四半期	13.60	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	30,160	18,315	60.7
24年３月期	31,804	18,134	57.0

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　18,315百万円　24年３月期　18,134百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	5.00	－	9.00	14.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		7.00	－	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
平成24年３月期末配当金の内訳　普通配当７円00銭　特別配当２円00銭

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	17,000	26.6	2,300	58.0	2,200	57.7	1,100	69.1	70.68
通期	31,000	1.5	2,700	△35.9	2,600	△36.5	1,300	△39.1	83.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　－社　（社名）　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	16,098,250株	24年３月期	16,098,250株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	535,400株	24年３月期	535,400株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	15,562,850株	24年３月期１Ｑ	15,562,850株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかな景気回復がみられるものの、欧州政府債務危機を背景とする世界経済の減速、円高の継続、電力供給の制約等により、依然として不透明な状況が続いております。

不動産業界におきましては、2012年上半期（１～６月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同期比14.0%増の２万746戸（株式会社不動産経済研究所調べ）と、堅調に推移しております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響は見られるものの、単身者を中心とした東京圏への継続的な人口流入を背景に賃貸需要は堅調であり、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第１四半期連結累計期間は、売上高65億62百万円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益６億68百万円（前年同四半期比8.7%増）、経常利益６億42百万円（前年同四半期比9.8%増）、四半期純利益３億22百万円（前年同四半期比52.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション102戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高42億47百万円（224戸）、ファミリーマンション売上高８億66百万円（30戸）、その他収入８億37百万円となり、不動産開発事業の合計売上高59億51百万円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益５億87百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高３億91百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益１億18百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

（建設事業）

建設事業は、受注環境が厳しく、売上高は１億49百万円（前年同四半期比15.1%増）に留まった結果、セグメント損失25百万円（前年同四半期は13百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、売上高69百万円（前年同四半期比22.7%増）、セグメント損失12百万円（前年同四半期は16百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は274億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億89百万円減少いたしました。これは主に販売用不動産が５億円増加した一方、現金及び預金が13億64百万円、仕掛販売用不動産が８億77百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は27億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が61百万円増加した一方、有形固定資産が12百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は301億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億43百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は67億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億43百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が12億65百万円、未払消費税等１億56百万円が減少したこと等によるものであります。固定負債は50億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億80百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が３億53百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、118億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億24百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は183億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億80百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益３億22百万円であり、減少は剰余金の配当１億40百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.7％（前連結会計年度末は57.0％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年５月11日発表の予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,411,451	10,047,279
受取手形及び営業未収入金	665,281	755,386
有価証券	5,606	5,607
販売用不動産	6,684,834	7,185,709
仕掛販売用不動産	9,622,722	8,745,220
未成工事支出金	12,653	83,043
原材料及び貯蔵品	16,730	11,865
前渡金	75,800	67,800
繰延税金資産	380,870	257,126
その他	253,468	280,457
貸倒引当金	△5,515	△5,420
流動資産合計	29,123,903	27,434,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	854,596	857,030
減価償却累計額	△335,096	△347,989
建物及び構築物（純額）	519,499	509,040
土地	389,857	389,857
その他	242,377	245,641
減価償却累計額	△184,546	△189,659
その他（純額）	57,830	55,981
有形固定資産合計	967,188	954,879
無形固定資産	70,824	67,676
投資その他の資産		
投資有価証券	170,663	168,525
繰延税金資産	424,709	430,048
その他	1,057,756	1,115,839
貸倒引当金	△10,843	△10,750
投資その他の資産合計	1,642,285	1,703,662
固定資産合計	2,680,298	2,726,219
資産合計	31,804,201	30,160,296

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258,790	1,272,799
1年内返済予定の長期借入金	3,244,000	3,310,000
未払金	387,886	277,569
未払法人税等	1,409,075	143,372
未払消費税等	213,274	56,284
預り金	1,256,247	1,256,236
賞与引当金	114,232	35,899
その他	352,135	439,645
流動負債合計	8,235,641	6,791,808
固定負債		
長期借入金	2,868,000	2,515,000
退職給付引当金	242,978	239,684
役員退職慰労引当金	614,830	621,820
長期預り敷金保証金	1,618,681	1,588,696
長期預り金	86,646	87,808
その他	2,551	－
固定負債合計	5,433,687	5,053,009
負債合計	13,669,328	11,844,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,970	1,858,970
資本剰余金	2,345,801	2,345,801
利益剰余金	14,160,040	14,342,349
自己株式	△232,351	△232,351
株主資本合計	18,132,460	18,314,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,412	708
その他の包括利益累計額合計	2,412	708
純資産合計	18,134,873	18,315,478
負債純資産合計	31,804,201	30,160,296

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	5,659,306	6,562,082
売上原価	3,872,258	4,619,803
売上総利益	1,787,048	1,942,279
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	93,478	117,033
給料手当及び賞与	428,868	434,098
賞与引当金繰入額	30,081	32,991
退職給付費用	12,050	10,837
役員退職慰労引当金繰入額	6,420	6,990
その他	601,462	672,192
販売費及び一般管理費合計	1,172,360	1,274,144
営業利益	614,687	668,135
営業外収益		
受取利息	367	1,159
受取配当金	1,781	219
違約金収入	20	4,565
その他	4,242	1,343
営業外収益合計	6,411	7,288
営業外費用		
支払利息	35,526	24,860
その他	569	8,149
営業外費用合計	36,095	33,010
経常利益	585,003	642,413
特別損失		
投資有価証券評価損	24,950	－
会員権評価損	－	3,250
特別損失合計	24,950	3,250
税金等調整前四半期純利益	560,053	639,163
法人税、住民税及び事業税	291,052	197,048
法人税等調整額	57,374	119,741
法人税等合計	348,426	316,789
少数株主損益調整前四半期純利益	211,626	322,374
四半期純利益	211,626	322,374

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	211,626	322,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,215	△1,703
その他の包括利益合計	15,215	△1,703
四半期包括利益	226,842	320,670
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,842	320,670
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,100,275	372,631	129,729	56,670	5,659,306	－	5,659,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,302	65,083	142,030	2,453	210,869	△210,869	－
計	5,101,578	437,714	271,760	59,123	5,870,176	△210,869	5,659,306
セグメント利益又はセグメント損失（△）	507,257	130,177	△13,900	△16,119	607,414	7,273	614,687

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額7,273千円には、セグメント間取引消去8,130千円、たな卸資産及び固定資産の調整額△856千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,951,975	391,283	149,300	69,522	6,562,082	－	6,562,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,914	69,541	119,983	2,932	194,372	△194,372	－
計	5,953,890	460,825	269,283	72,455	6,756,455	△194,372	6,562,082
セグメント利益又はセグメント損失（△）	587,010	118,679	△25,590	△12,850	667,249	885	668,135

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額885千円には、セグメント間取引消去6,789千円、たな卸資産及び固定資産の調整額△5,903千円が含まれております。
２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。